

平成25年度第2回ふれあい座談会

主 催	すこやか貯筋クラブ
テ ー マ	市長との意見交換
日 時	平成26年1月10日（水）午前9時30分～10時30分
場 所	ゆめぼると
参加者	39人
市	市長、保健センター所長、保健センター地域健康支援係長、同係職員、広報広聴係長
市 長	<p>おはようございます。今日はすこやか貯筋クラブの皆さんとふれあい座談会ということで、お招きいただきありがとうございます。</p> <p>私は10月に2期目ということでスタートさせていただいたわけですが、就任以来、皆さまとこういうお話をする機会を少しでも多く取りたいということで、参加された方もいると思いますが、地域ごとにタウンミーティングというものをやったり、今日のように各種団体の皆さまとふれあい座談会ということでいろいろな会の方とお話をさせていただいたりしております。</p> <p>実は私も詳しいことは知らなかったのですが、去年皆さんの会の平均年齢が74.9歳、だから今年はもう少し上がっているのかもしれませんが。そして最高齢の方が89歳、大正13年生まれの方もいらっしゃるということで、すごいなあと思いました。74.9歳ということは、私は昭和36年生まれで52歳ですので、おそらく私の母親の年代の方々ですから、ちょっと緊張しているところでもあります。</p> <p>ふじみ野市も平成17年10月1日に誕生しました。当時、まちの名前をどうしようかと検討したり公募したりして、ふじみ野市ということになりましたが、ふじみ野駅は実は富士見市なんですね。2市2町の合併ということをしようとしたときも一番多かったのがふじみ野市という名前で、やはり1市1町の合併のときもふじみ野市が一番多くて、ふじみ野市になり</p>

ました。去年の10月で丸8年が経ったのですが、平成17年
当時は、上福岡市とか大井町とかいう名前に慣れているんで
す。でもふじみ野市とひらがなで書くのがなんかうまくまとま
らないなという人が多くて、私も苦労したのがなんか懐かしく
なるくらい8年が経ったわけです。

現在、ふじみ野市もそうですが、地方も国も財政状況は厳し
いです。皆さんもテレビのニュースで見ると思いますが、国家
予算が90数兆円という中で、社会保障費がなんと30兆円に
なっていました。社会保障費というのは介護とか医療とか
福祉にかかる部分ですけど、それが年間1兆円ずつ増えている
というんです。とすると、今30兆円ですが、国の予算が10
0兆円だったとしてもあと20年もすると国の予算の半分が
社会保障で消えることになるわけです。高速道路とか昔に作っ
たものがどんどん古くなっていく中でそういうものを維持し
ながら、市民サービス、国民サービスをすすめていかなければ
ならないわけですが、それが成り立たなくなっている、皆
さんも感じられていることだと思います。

少子高齢化という言葉がよく使われますが、子どもが少なくな
って高齢者が増える、あまり言い方がよくないなと思っている
のですが、元気で長生きできればこんなに素晴らしいことは
ないんですね。ですから、高齢者というひとくくりにしてない
がしろにはしてはいけないと思っています。でもこの国は子ども
の生まれる数が少ないから、結果的に人口が少なくなるわけ
ですが、高齢者を支えることはどんどん大変になります。です
から、国の社会保障制度を見直す、あるいは少子化に歯止めを
かけるようにしなくてはならない…

聞こえづらいですか？もし、聞こえづらかったら前に来てく
ださい。あっ、私が前に出ればいいんですね。これは大変大事
なことなんです、市役所でも同じです。何かわからないこと
があったら市役所に来てくださいではなくて、本当は私たちが
皆さんのほうへ出向いていく、これが本当の意味でのサービス

なんです。

ことしの4月から消費税率が上がります。誰もが嫌なんです。けれども大半の人が今の国のあり方を見たら、いたし方ないかなと思っているでしょう。誰もが負担を減らしてもらいたいんですが、みんなが負担し合って助け合っていかななくてはならない。私も含めて政治にかかわっている人は選挙で選ばれます。選挙では選んでほしいから、サービスをよくするとか、負担を減らすとかいいますよね。皆さんもそういう人を選びます。でも、それは目先だけのことなんです。みんなが大変なときはみんなが出し合って助け合っていかななくてはなりませんよね。公民館などの公共施設が減免といわれてお金を払わないで使える、それが可能だった時代もありますが、今はこういった施設を使う人たちが少しでも負担し合って使っていかななくてはならない、と私は思っています。サービスとありますが、そのサービスは誰のお金を使っているのでしょうか。すべてこのまちに暮らす人の税金を使っているんです。つまり、公共施設を使わない人の税金も使って、公共施設は維持されているわけです。だから、消費税率を上げなければならないという時代にきているわけですが、もう上げなくても済むというシステムを作らなければならないんです。人口減少時代と言われている中で、私は子育て、子ども優先の政策をふじみ野市に取り入れました。子どもたちの医療費はせめて義務教育の終わる中学校3年生までは無料化にしました。また保育所の待機児童を減らそうと保育所も作りました。学校の耐震補強、そして古くなった学校の大規模改修にも着手しています。私たちは和式トイレにも慣れていますが、今の子どもたちの中には洋式トイレしか使えない子どももいるんです。学校に行って初めて見るという子もいるそうです。だから、トイレ改修も現在進めています。さらに今の時代、夏は大変暑いんです。学校の教室は40度を超えてしまっているんです。全部の学校を見て回りましたが、子どもたちは真っ赤な顔をして勉強していました。そこで、暑さ

事務局	<p>を少しでも落そうと、今年の6月までに全部の小中学校にエアコンをつけることにしました。これも税金が使われます。けれども、子ども優先の政策を始めて、子育てしやすいまち、あるいは子ども達の環境をよくしていこうと進めてきたおかげで、ふじみ野市は去年の12月で人口が11万人を超えました。平成17年のふじみ野市が誕生した当時には、人口は約10万6千人でした。4千人以上増えたわけです。その中で何よりもうれしいのは、増えた人口の75%くらいが子どもたちを育てている若い世代なんです。ですから先ほど申し上げましたように全国で子どもが生まれないから若い人たちが少ないという中、若い人たちがどんどんふじみ野市に来ているんです。ここが重要なんです、今まで頑張ってきた世代の人たちが安心して暮らすためには、若い人たちの支えが必要です。高齢化率も若干ですが、抑えられています。若い人たちが増えれば子どもも増えます。子どもが増えれば、まちも活気が出てきます。今は子どもたちが全然遊んでいない公園もありますが、寂しいですよ。住宅地の中も歩いている人を見かけなかったりするの、家の中にこもっている人が多いということです。これからはまさに貯筋クラブの皆さんのように、健康志向の高い人が多いまちにしていきたいですよ。今日は私も体操に参加できるということだそうなので、楽しみにしています。</p> <p>直接お会いして話す機会というのは少ないと思いますので、今日は何でも言ってください。市役所で取り扱っている項目は何千とありますので、この場で即答できないこともあるかもしれませんが、それらは後程ご回答します。本日はひざを突き合わせて、疑問に思っていることや地域の課題などざっくばらんに、忌憚のないご意見をいただいたり、疑問にお答えしたりしながら、この時間を過ごしたいと思います。本日はよろしくお願いたします。</p> <p>参加職員の紹介（省略）</p>
-----	--

<p>司 会</p>	<p>市長はこの貯筋クラブのことをあまりご存知ではないかもしれませんが、このクラブは、保健センターの「転倒をしない」ための講座に参加された方がほとんどです。その後、保健センターのこの事業を実施しない、という時がやってきまして、場所があれば、指導者がいれば続けたいという人が多かったことから、自主サークルという形で始まりました。すでにことし11年目に入りました。定員は、1人の指導者が見られる人数や会場の広さなどから50人としていますが、発足時から今まで、この会から退会されたのはわずか5人です。それだけ健康ということですから、「病院を使わない」という意味ではとてもこのまちに貢献している人たちだと思います。</p> <p>今日は皆さんから忌憚のないご意見を出していただいて、もっとこういうような場所を増やしていただけるような機会にできたらと思っていますので、今日はよろしく願いいたします。</p>
<p>参加者</p>	<p>こちらの会場をお借りしているのですが、保健センターの職員が、朝ここに来て、階下にいる支所の職員の方から鍵をお借りして、鍵を開けています。こちらの職員の方が鍵を開けるなど、もう少し柔軟な対応をしていただけないでしょうか。</p>
<p>保健センター 所長</p>	<p>保健センターの事業という扱いなので、保健センターの職員が鍵の開け閉めを行っています。しかし、早めに来られる方も多いため、ご迷惑をおかけしている状況です。</p>
<p>市 長</p>	<p>今、保健センターの所長が言ったように、ここは保健センター事業で使用するときと、市民への開放施設、ゆめぼるとして使用するときがあり、年間200日くらいは保健センター事業として使用します。</p> <p>今のご意見についてなんですが、おっしゃる通りだと思います。私はよく言うのですが、「市役所の常識は、市民の非常識」</p>

だと思えます。よくお役所仕事といいますが、そう言われないうようにしようといつも言っています。ですが、やはり自分の担当ではない、よその担当のときはよそにやらせればいいやと、悪い言い方ですけど。逆にいい言い方をすると責任を持って担当部署がしましようということです。保健センターがいつもより早く来て鍵を開ければ済む話なのか、すぐ下に同じ職場の仲間がいるのだから、せめて開けるくらいは開けて、閉めるときに責任を持ってもらうとかですね。

私も今日は予定より早く来たのですが、階段を上ってきたら、シャッターが閉まっていました。私も勉強不足だったと思いますが、脇から入れるようになっているのを知らなくて、「何でまだシャッターが閉まっているのだろう」と思ったくらいでした。結局、また下へ降りて聞いてみたら「もう皆さん、エレベーターで上がっていますよ」と言われました。エレベーターなら中に入れたんですね。

私たちは誰のために仕事をしているのかと言ったら、市民のためです。市民が便利になるようにするのだったら、力を合わせるのは当たり前のことです。保健センターを含めて検討いたします。

それからですね、私は健康増進に力を入れようと思っています。健康増進にお金を使うことは経費ではないんですね。投資なんです。市民の健康志向がどんどん高まり健康になっていけば、一番わかりやすいのが、医者にかからなくて済むようになります。つまり医療費が抑制されます。必要な医療は受けてもらわなければいけないのですが、医療費を抑制するということは、入ってくるお金は限られていますから、出る分が減れば他に使える。だったら、医療費を抑制できるような投資的な健康増進にお金をかけていけば、他のことにお金を使っていけるということです。ですから、健康志向をどんどん高めることに力を入れていきたいと思っています。

参加者	ここに健康器具みたいなものを置いていただけますか。
市 長	ジムみたいなものですか。現段階ではそこまでいきません。税金の使い道にもう少し余力が出てくれば可能かもしれませんが、できればそういう機械的なものについては、皆さんにお金を出してもらってそういうものがある施設とかに行っていたきたいなと思っています。
参加者	先ほどおっしゃっていましたが、トイレのことなんですが。去年、鶴ヶ丘小学校の運動会でトイレをお借りしたのですが、すごく汚くて暗いんですよ。先ほど和式じゃなくて洋式にしてくださいっていましたが、もう少し明るくしていただければいいなと思います。
市 長	外トイレですか。子どもたちが使う学校の中のトイレは、去年と一昨年、2年かけて大規模改造しましたのでかなりきれいになったはずですよ。外トイレは学校開放やスポーツフェスティバルなどの行事や、スポーツ団体や少年野球など、学校が閉まっているときにいろいろ使う方がいると思います。本当はそういう人たちが交代でトイレ掃除をするなどして、きれいに使っていただけるといいなと思っています。もちろん、照明の問題などは行政が行う必要があると思いますので、確認しておきます。
参加者	環境のことで日頃思っていることを言わせていただきます。イオンから駅へ向かっていく道なんですが、たまたま富士見市の人と一緒に歩いていたんです。街路樹として歩道に楓の木が植えてありますが、突然「杭」になりました。枝が全部取り払われて、ストーンと途中で切られていました。途中でここから富士見市と書かれた看板があつて、そこからはきれいに木が生い茂っていました。富士見市とふじみ野市はとても対照的だと思います。

<p>市長</p>	<p>いました。このままではふじみ野市は木陰のないまちになってしまうのかなと悲しくなりました。環境というのはとても大事で、住環境というのはお金をかけるではなく、今あるものを大事にしていくことだと思います。</p> <p>あの方法は剪定ではなく、切り落としたのと同じじゃないかと思いました。</p> <p>ケヤキなんかもそうですが、どうしてこんなに丸坊主にするのと言われます。そうでない切り方をするのであれば、剪定費用は何倍もかかると言われます。環境を守るためにもお金は必要ですから、市民の皆さまが協力する体制をつくることも考えなくてはいけないと思います。大井総合支所のそばに桜並木があります。あの桜も片側だけどうしてあのように切ったのかと言われていますが、それでも沿道の方々の中には抜いてほしいという意見もあります。近くではない人たちは、桜はきれいだし、自然環境の面からも残したいと言いますが、沿道の人たちからは、高齢のため落ち葉の掃除が大変だとか、落ち葉が樋に詰まって改修費用がものすごくかかっているとの声も聞きます。それでもあの見事な桜は残したいということで、あのような方法をとったという例もあります。</p>
<p>参加者</p>	<p>沿道に住む方の声はわかりますが、市の方針として、市長は「あったかいまち」にしたいと言っていますが、人間だけでなく環境面にも配慮したまちにしてほしいと思います。</p>
<p>市長</p>	<p>現在、担当課は限られた予算の中で一生懸命やっていると思っています。ふじみ野市がまちのすべての木をきれいに剪定したとしたら、相当費用がかかりますので、おそらくですが、大井総合支所の建て替えなどはできないかもしれません。しかし、その現場を見て感じられたというこの感想や意見は担当課に伝えます。もう少しやり方があるのではないかと考える、それ</p>

	<p>が行政だと思います。</p> <p>私も思いは一緒です。環境にやさしいまちというのは、まちづくりのコンセプトとしてはかなり高い位置にありますし、環境にやさしいまちというのは、あったかいまちにするためにもかなり太い柱だと思っています。</p>
参加者	<p>大井総合支所では、高齢者のバスのカードとか住基カードとかが受付だけで、市役所から自宅に送られてくるんですが、2重の手間ですし、時間がかかって急ぎのときに合わないのも、その場で発行していただければと思います。大井総合支所だけで様々な用事が済ませられるように支所で働く職員をもっと増やしていただければ、本庁と支所間を走っている直行バスもいらなくなると思いますが、経費の比較は行われたのでしょうか。</p>
市 長	<p>もちろんです。天と地ほどの差があります。住基カードなどがすぐ必要なときというのはどのようなときなのでしょう。</p>
参加者	<p>早く手に入ったほうがいいじゃないですか。</p>
市 長	<p>そういうことですね。受付だけで郵送する方式のほうが、経費が安いんです。もし、受付もできないということであれば不便だと思いますが、支所で受付ができて、手元に届くということで、それにかかる経費を少しでも安くなるのであれば、それだけ皆さんの税金を使わなくて済むということなんです。</p> <p>それから、合併してまちが一つになるということは、皆さんの税金ですから、ムダにしないようにしていくことが大事です。合併したことで首長や議員の数も減りました。これだけでも億単位の金が浮きます。職員数も合併当初は900人近かったのが、いま、正規職員数は660人くらいです。民間だったら、売り上げが少ないのに社員をいっぱい雇っている会社なん</p>

かありません。

市役所というと、皆さん少しかけ離れた感じがするかもしれませんが、言ってみればふじみ野市の事務所なんです。皆さんのお金の使い道を考える事務所ではないんです。だから皆さんから「そんなに職員がいていいのか」と言っていたくらいが本当だと思っています。

合併前はそれぞれが市役所、町役場でしたから、そこへ行けば何でも済みましたが、合併直後はできないことがとても多くありました。現在、それは減ってきて、通常必要な業務はほとんどできます。先ほどのカードの話もすぐに手に入れば便利ですが、受付ができて手元にカードが届くということは、業務としてはできているといえます。もし、「これは支所ではできないので、本庁に行ってください」というような業務があれば、すぐに伝えるように支所に話してあります。たまたま担当がいなくてできなかったのであれば、後日こちらから伺ってでも対応しなさいと言っています。

市役所はお店と違って対応が悪いからもう行かないとはならない場所ですね。私の家も商店でしたから、お客さんが良かったと思ってもらえるように常に商売をしていました。市役所は悪い対応をしてしまってもまた来てもらえます。行かざるを得ない。だからこそ、職員にはそういう対応は改めるように伝えています。

シャトルバスの話がでましたが、あのバスは障がいのある方が相談をするために使ってもらおうと設置しました。相談は支所でもできるようにすべきですが、すぐにはできないので、それまでの間利用してもらおうと用意しました。しかし、ほとんど乗る人がいないんです。もったいないですが、市として用意すべきものであるということで用意しています。

それから循環バスですが、高齢の方が増えてきていますのでバスがあれば便利だと思います。でも、無料でいいのでしょうか。お金を取ってでも、もっと便利にしたほうがいいのではな

いでしょうか。若いときに駅から遠くても構わないといって自宅を建てられた方が、年を取って病院へ行くのも大変だからバスを、というのは、言葉は悪いかもしれませんが個人の問題です。それをみんなの税金を使った公共交通でまかなうというのはどうなのでしょう。このバスは合併以前、旧大井町で走っていたバスです。その当時でさえ、路線網について疑問を抱く人は多くいました。それはそうですよね。自宅の近くにバス停がある人は便利ですが、そうでない人は当然近くに欲しいですよ。

よくタウンミーティングなどで話すのですが、合併というのは人に例えると、男性と女性が結婚して家庭という一つの社会をつくることだと思います。生まれた場所も育った環境も違う人たちです。他人です。他人が夫婦になって家庭という社会を作ったときに「これ、私の実家から持ってきた車だから、乗ってはだめ」とはいえないですよ。お互いがお互いを思いやる、認め合うことが大事です。

ですから2台しかないバスを、ただでさえもっと便利にしてほしいというバスを、大井地域だけでなく上福岡のエリアにも走らせました。そうすることで、公共交通であるこのバスをどうしたらいいのかということをお互いに考えてもらえるからです。例えば、循環バスをやめてデマンドバスを走らせるとか、民間を導入してそこに補助金を出して、タクシーより安い料金で利用できるようにするとか、いろいろ方法はあると思います。停留所に近い人たちからの廃止しないでほしいという意見だけを聞いていたら、町じゅうにいる高齢や障がいのある人たちのためにはなりません。あのバスは年間3千万円のお金がかかっています。でも乗っているのは、ごくわずかの人たちが繰り返し乗っているだけです。だったらその分を、民間のデマンド交通に任せたほうがいいんじゃないかという考え方もあります。

先ほどお尋ねのあったシャトルバスの経費ですが、月に63

	<p>万円です。シャトルバスの代わりに職員を増やしていくとなると、平均的な賃金で考えると2人増やすとバス代より高くなりますね。</p> <p>今後はシャトルバス、循環バスのあり方について、いろいろ議論していく必要があると思います。</p>
参加者	<p>市内循環バスとライフバスが同じ時間に停留所に来るのですが、市内循環バスの時間をずらして、バスのない時間帯を減らしてもらえませんか。</p>
市長	<p>バスの運営母体が違いますので、たまたま停留所の時間が重なっただけです。11万人が暮らしているまちで年間の延べ利用者数が2万2、3千人です。ということは、月当たりで2千人が乗るか乗らないかという程度です。さらにこの数字は延べ人数ですから、利用者は同じ人が多いという状況です。それで年間3千万円です。ですから先ほど申し上げたように、公共交通のあり方を考える必要があるわけですね。一人一人の方がいろいろな思いを抱いていることは承知していますので、今のご意見などもちゃんと調べていきます。</p>
参加者	<p>市で山へ行く教室をやってくれました。そうしたら、集合場所も解散場所も市役所の本庁舎なんですね。帰りはもう真っ暗なんです。できたら、大井総合支所にも回ってほしいと思います。朝も6時とか6時30分とかですと、循環バスやシャトルバスも走ってないので、とても大変です。</p>
市長	<p>わかりました。戻ったら可能か不可能なのか担当に確認します。</p>
司会者	<p>長い時間どうもありがとうございました。皆さんが日頃持っていることを述べたので、市長さんも聞きがいがあったのでは</p>

ないかと思えます。私としては市長さんや保健センターの職員の方もいらしているので、もっと健康づくりの面の話が欲しいなと思っていたのですが、でも、いろいろ聞いていただけて良かったと思えます。

市にも応援していただきながら、健康に気をつけて頑張ってもらいますのでよろしくお願いします。

では、市長さんも体操にご参加いただけるということですので、こちらへよろしくお願いします。

(貯筋体操) 略

